

○発達障がい支援フォーラム 2017 in 隠岐ご報告○
『生きづらさを安心へ』

♪ 隠岐は絵の島 花の島 磯にゃ浪の花咲く 里にゃ人情の花が咲く (ハヤッショメ ヤッショメ)・・・♪



隠岐汽船に乗船し、海の旅を満喫し各島の港に着く頃になると「しげさ節」が流れ、到着したことを知らせてくれます。何度も隠岐に行っている私にとってはとても心地よい民謡の一つとなっていました。

さて、今年度、8月20日(日)隠岐島文化会館において、又村あおい氏をお招きし「発達障がい支援フォーラム2017」を開催させて頂きました。初めて隠岐で開催するため、場所、人数の確保等々不安の中でのスタートだったのですが、隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村の各福祉課様をはじめ教育委員会様、社会福祉協議会様、各福祉会様等々、多くの方に前日からのボランティア、当日の即売と大変盛り上げて頂きました。感謝申し上げます。当日は100名を超える皆様方に参加して頂き、少しでも理解・支援につなげることが出来たのではないかと考えております。隠岐の皆様が発達障がいの方々にとって少しでも『生きづらさを安心へ』の副題のように、地域の中で支えて頂くことが出来たらとても幸せな毎日をご過ごすことができると確信しています。参加してくれました当事者の皆さんもとても隠岐が気に入っていました。



親の会の活動



10月	11月	12月
5日(木) 自閉症協会出雲支部 場所: 療育センター擦々 時間: 10:00~12:00	9日(木) 自閉症協会雲南支部 場所: つつじホール 時間: 10:30~12:30	7日(木) 自閉症協会出雲支部 場所: 療育センター擦々 時間: 10:00~12:00
19日(木) 自閉症協会松江支部 場所: 総合福祉センター 時間: 10:00~12:00	18日(土) 自閉症協会松江支部 ~19(日) ・鳥取県の大山で「宿泊研修」	21日(木) 自閉症協会松江支部 場所: 総合福祉センター 時間: 10:00~12:00
25日(水) ことばを育てる親の会 ひだまりの会 場所: 松江市立第三中学校 時間: 14:00~16:00	手をつなぐ育成会 「いいともおやとも子育て講座」 日時: 未定 場所: いきいきプラザ 22日(水) ことばを育てる親の会 ひだまりの会 場所: 松江市立第三中学校 時間: 14:00~16:00	20日(水) ことばを育てる親の会 ひだまりの会 場所: 松江市立第三中学校 時間: 14:00~16:00

作品展示会の開催

絵画等、皆さんが丹精込めて作成された作品を展示し、和やかな雰囲気での交流の場を企画しましたので、沢山の方にお出かけいただきたいと思ひます。尚、入場料は無料です。

日 時…11月23日(木)～11月26日(日)…10時～17時
場 所…島根県立美術館ギャラリー3室

展示作品募集…絵画や手作り品等、10月下旬までにウィツシュの門脇・川上までにご連絡下さい。

作品介绍

勝部さんの作品は約3cmと小さいですが躍動感に溢れています。10月からフランスで開催の「日本のアール・ブリュット展」に出展されます。



勝部翔太さんの作品

✚ ウィツシュ医療相談 ✚ 診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配ごとを相談できます。

月	日	担当医師	場所	時間
11月	6日 (月)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	9日 (木)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《雲南会場》 雲南市役所	③ 13:30～14:30 ④ 15:00～16:00
	10日 (金)	鳥取大学医学部附属病院 兼子幸一先生(精神科)	《安来会場》 安来中央交流センター	① 14:00～15:00 ② 15:00～16:00
	21日 (木)	松江青葉病院 藤本晶彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	29日 (木)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《隠岐会場》 調整中	調整中
	30日	島根大学附属病院 三木啓之先生(精神科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
12月	13日 (水)	きむらこどもファミリークリニック 木村正彦先生(小児科)	《出雲会場》 出雲保健所	① 15:30～16:30 ② 16:30～17:30
	15日 (金)	島根大学附属病院 長谷川有紀先生(小児科)	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00

*予約制です(お一人1時間弱)。医師定期相談は医療にかかっていない方を優先させていただきます。

*医師が必要と判断した時は発達障がい専門的な検査を行うこと可能です。そのため、相談には臨床心理士が同席させていただきます(詳細はお問い合わせください)

*医師との相談後、発達障がいに関する支援が必要であれば引き続きセンターでご相談もできます。

相談は予約制となっております。 [予約専用ダイヤル 050-3387-8699](tel:050-3387-8699)

私の物語 ～幼少期編～

学齢期の印象深い出来事を振り返ると、今ではそれが発達特性によるものだったと理解することができます。授業中静かに座っていることができず騒ぎだし、席から離れることがありました。また、怒りなどの情動を処理しきれず、よくクラスメイトと喧嘩をしていました。集団行動も苦手な、すぐにその場から離れてしまいますので、先生から名前を呼ばれ振り返ると、みんなが遠くから見ていたことも記憶しています、周囲から叱責を受ける機会が多くなってゆきますので、強い抑うつや不安を感じる児童でした。チック症状や腹痛といった身体症状が現れ始めたのも、学校での不適應感が背景にあったからだと考えています。

8月20日に隠岐フォーラムでご一緒させて頂いた講師の又村あおい氏が、講演の中で「合理的配慮」に関するお話をされました。「何らかの問題」が生じ「障害になっている事柄（障壁）を取り除く」というプロセスに例外はないと。体に障害を持っている（たとえば両下肢に障害があるため車いすを利用されている）方は、問題になっている事柄に気づきやすく配慮を行いやすい傾向にあるそうですが、発達特性を持つ方々は一見すると「何が問題になっているかがわかりにくい」という特徴があります。まして特性を持った子どもたちは自分の何が問題となっているかに気づけないケースも多く、不登校や反抗挑戦的な態度、いじめに遭う（あるいは加害者になる）、自傷行為など二次的な形で問題が顕れてゆきます。

学校という場は発達特性を持つ子どもたちにとって、その多くは逆境的な体験をせざるを得ない状況です。しかし、一つの個性として尊重してくださる方が一人でもいれば、学校生活が豊かなものになってゆくと実感できるはずですよ。

発行元*

「島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ」

TEL 050-3387-8699/FAX 050-3730-9745

〒699-0822 出雲市神西沖町 2534-2 (さざなみ学園内)

E-mail:wish@sazanami-g.jp

担当:門脇 編集長:川上